

熊野沖斜面域における 2011 年熊野川洪水堆積物の特徴 Characteristics of 2011 Kumano River flood deposits on off Kumano submarine slope

池原 研^{1*}, 宇佐見 和子¹, 芦 寿一郎²

IKEHARA, Ken^{1*}, USAMI, Kazuko¹, ASHI, Juichiro²

¹ 産業技術総合研究所地質情報研究部門, ² 東京大学大気海洋研究所

¹Institute of Geology and Geoinformation, AIST, ²Atmosphere and Ocean Research Institute, University of Tokyo

2011年9月の台風12号による熊野川の洪水起源と考えられる堆積物を熊野沖海底で確認した。2地点で採取された試料の最表層部には褐色で通常時の半遠洋性泥よりもやや密度の高い泥層が認められる。洪水以前に同じ斜面から採取された試料にはこの泥層は確認されておらず、台風12号による洪水堆積物と考えられる。この泥は粘土鉱物と碎屑粒子に富む。また、基底は明瞭であり、2枚の泥層が癒着して重なりあう場合もあるが、砂層部分はほとんど認められない。先行研究で1889年十津川洪水に対比されている砂層は碎屑粒子と植物片に富み、また厚い砂層を持つが、これとは明らかに特徴が異なる。土砂ダムの決壊や河口砂州の崩壊などの有無がこのような違いをもたらしたと推定される。

キーワード: 海底堆積物, 洪水, 海底環境, ハイパーピクナル流

Keywords: marine sediments, flood, sea bottom environment, hyperpycnal flow